

LA VIDA EN MÉXICO～

～メキシコ文化と小旅行～

TAKU MINAGAWA Vol.2

メキシコに来てから約2カ月が過ぎ、こちらの生活にも大分慣れてきましたところですが、今回のレポートではメキシコの文化や各地の旅行についてお伝えします。

□文化コース

私が通う^{セベ}CEPE(メキシコ国立自治大学附属スペイン語学校)ではスペイン語を学ぶだけでなく、歴史や芸術などの文化クラスを取る事ができます。私はメキシコ伝統工芸と歌のクラスを取り、スペイン語でマリアッチや伝統的なメキシコの曲を歌いました。メキシコは地域によって陶器、ガラス、蝋、銀製品など沢山の工芸文化があり、授業の一環でガラス工房の見学に行きました。メキシコの文化・芸術は幅広く、日常の中でそれらに触れられるのは、メキシコ生活の中での大きな楽しみの一つです。



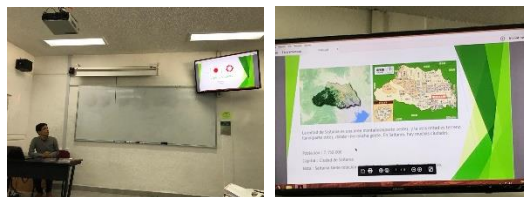
[合唱グループの発表/右から二番目が本人]



[市内にあるガラス工房の見学]

□学校での日常

学校では日々たくさんの宿題が出るので、それらをこなすのが普段の生活の中心になっています。授業では日本や自分の郷土の話をする事も多くあり、埼玉の特徴やどんな地域なのかをプレゼンテーションしました。クラスは数人～10人程度の少人数で行うのが主で、密度のある講義を受けることができます。



[授業でのプレゼンテーションの様子]

□ソチミルコへ

スペイン人の統治前は湖と水路の都市であったメキシコシティ。その面影を残す場所がソチミルコです。市内から車で40分ほどで行ける、日帰りで行くのに調度良い観光地です。ここでは船でゆっくりと水路を巡りつつ、船内でメキシコの伝統料理を食べるのがお勧めの観光です。また、自身の職業柄(建築設計)、各地の現代建築を巡るのも欠かせません。



[ソチミルコの観光(上)と現代建築のレストラン(下)]

LA VIDA EN MÉXICO~

~メキシコ文化と小旅行~

TAKU MINAGAWA Vol.2

□メリダへの旅行

10月初旬、学校での最初のセメスターが終わり、初めての中期休暇がありました。休みは約2週間あるのでほとんどの学生が旅行に行きますが、私はメキシコ東に位置するユカタン半島の首都、メリダへ旅行してきました。旅の目的はメリダのコロニアル様式が色濃く残る街並みを見る事と、メキシコ料理の中でも特に美味しいと評判のユカタン料理を食す事です。



〔メリダのカラフルな街並み〕



〔町の中心にある教会(上)とユカタン料理(下)〕

ユカタン料理はメキシコシティでは味わえないものが多く、『また訪れてあの味を食べたい』と、すでにその味が恋しくなるほどの料理でした。

□死者の日/Día de Muerto

メキシコで一番盛り上がるイベントと言われているのが、^{ディア デ ムエルト}Día de Muertoと呼ばれる死者の日です。メキシコシティでは10月末に、市内の中心で盛大なパレードが行われていました。パレードでは参加者が死者であるガイコツに仮装し、地域の踊りや音楽に合わせて行進をしていました。死者の日は日本で言うところの“お盆”ですが、メキシコでは色鮮やかに、また賑やかな雰囲気でお祝いされているのが印象的でした。昨年、日本で公開された映画『リメンバー・ミー』でもメキシコでの死者の日の様子が分かりやすく描かれています。



〔死者の日のパレード〕

□次回に向けて

11月号レポートではメキシコでの他の地域の旅行や、私が生活するメキシコシティの魅力をお伝えする予定です。